

こんな本を読んできました

タイトル 教科書の外で出会う、ぼくらの身のまわりの理科
 著者 うえたに夫婦／著
 出版 河出書房新社

中学生や高校生の方に、夏休みの宿題のヒントにおすすめの本を紹介します。
 この本では、主人公のポコ太が夏休みを過ごしながら、日常に散らばる『なぜ』を個性的な解説キャラたちから、まんが形式で学んでいきます。
 中学校で学ぶ『理科』と聞くと、苦い表情を浮かべる人も少なくないと思います。簡単なようで小難しい、そんな印象がありますが、夜でなくても見える月、かさぶたができるしくみ、花火の音が遅れて聞こえる理由、これらすべて中学生の理科の学びで説明ができるのです。私は色つきスティックのりが乾くと色が消える謎が気になりました。答えは、読んでのお楽しみ。
 お子さんからの『なんで?』に備えて読むもよし。学生時代を懐かしんで力試しに読むもよし。豆知識をだれかに話したくなる本です。



呉市と関わりのある作家や事柄の所蔵資料を紹介します。



郷土資料

タイトル 地球の歩き方 御朱印シリーズ45
御船印でめぐる全国の魅力的な船旅
 編集 地球の歩き方編集室
 発売 学研プラス

「御船印」という言葉を聞いたことがありますか？
 「御朱印」には馴染みがある人も多いと思いますが、「御船印」とはその名の通り、「御朱印」の船バージョンです。
 2021年6月時点で日本全国54社が参加しており、定番のもの以外にも、期間限定や枚数限定の御船印を発行している会社もあるようです。
 広島県内だと、宮島へ渡る宮島松大汽船や、宇品港・呉港・松山港を結んでいる瀬戸内海汽船も参加しています。身近な会社も参加しているのに知らないことがあるなんてもったいないですね！
 そろそろ夏本番！これから旅行をする人も多いのではないのでしょうか。
 この本を読んで、周りの人よりも一足先に、御船印集めを始めてみませんか？